

平成 2 3 年度

— 第 1 2 回 (定例・臨時) —

教育委員会会議録

開 会	平成 2 3 年 1 1 月 1 0 日	午前 午後	2 時 3 0 分			
閉 会	平成 2 3 年 1 1 月 1 0 日	午前 午後	3 時 1 8 分			
会 議 場 所	教育委員室					
委員出欠	濱上和康	出	平田静太郎	出	藤岡庄司	出
	松村佳子	出	花山院弘匡	欠	富岡将人	出
議事録署名	教 育 委 員 長					
委 員	教育委員長職務代理者					
書 記	奈良県教育委員会事務局 企画管理室					

議案及び議事内容	結果
<p>次第</p> <p>議決事項1 平成24年4月人事異動方針等について</p>	<p>議決</p>
<p>議決事項1 平成24年4月人事異動方針等について</p>	
<p>○委員長 「議決事項1について説明願います。」</p>	
<p>○教育長 「来年4月の小・中学校及び県立学校の教職員人事異動の重点項目(案)を作成いたしましたので、教職員課長よりご説明いたします。」</p>	
<p>○教職員課長 ・ ・ ・ 資料に基づき報告 ・ ・ ・</p>	
<p>○委員長 「ただいまの件につきまして、ご意見、ご質問はございませんか。」</p>	
<p>○藤岡委員 「重点項目に『他県及び国・私立学校との人事交流を積極的に推進する。』とあるが、他県との人事交流があるのか。また、国・私立学校との人事交流に数値目標はどの程度なのか。」</p>	
<p>○教職員課長 「他県との交流は、和歌山県、三重県との三県でおこなっている。また、東日本大震災特別選考の採用の関係で新規で福島県との調整をおこなっている。国・私立学校との人事交流は目標数値は定めていない。」</p>	
<p>○松村委員 「『長期勤務者の割合を5%台の達成を目指す。』とあるが、現在はどの程度か。」</p>	
<p>○教職員課長 「現在は約6.5%である。」</p>	
<p>○平田委員 「『管理職及び県教育委員会事務局指導主事等への若手教員の登用を図る。』とあるが、どれくらいの年齢を想定しているのか。また、県教育委員会事務局での任期はどの程度か。」</p>	
<p>○教職員課長 「40歳代を想定している。また、任期はおおむね3年である。」</p>	
<p>○濱上委員 「『女性管理職の積極的な登用を図る。』とあるが、なかなか資格も含めて難しいと思う。どうかたちで管理職にあげていくのか。道筋を立てていかないといけない。スローガンとしては分かるが、教職員の取り巻く環境がきびしいなか、ギャップがあるようにも思う。また、他</p>	

議案及び議事内容	結果
<p>他府県に比べても女性管理職の割合は低いように思う。なかなか進んでいかないのではないか。」</p>	
<p>○教職員課長「奈良県の小中学校の女性管理職の割合は8%で全国に比べ低い状況にある。」</p>	
<p>○濱上委員 「市町村教委での人材発掘や育成のほか、学校の多忙な業務の解消も必要ではないか。」</p>	
<p>○平田委員 「クラブ活動の指導の面では、教職員の長期勤務もいいのではないか。」</p>	
<p>○教職員課長「長期勤務には、いろいろなケースがある。クラブ活動や家庭事情等あり、丁寧に見ながら対応したい。」</p>	
<p>○教育長 「異動方針に長期勤務者の解消をうたっている府県は少ない。今のところ約6.5%までになってきた。ゼロを目標としているわけではない。」</p>	
<p>○委員長 「他にご意見がないようですので、原案どおり議決してよろしいか。」</p>	
<p>※ 各委員一致で可決</p>	
<p>その他報告事項</p> <p>① 奈良県地域教育力サミットの開催について (教育長)</p> <p>② 家庭教育サポートフェア～ふれあい親子ひろば～の開催について (人権・社会教育課長)</p> <p>③ チャレンジ運動フェスタの開催について (保健体育課長)</p>	